

地域医療連携室通信

2007(H19)3月号(第7号)

上天草市立上天草総合病院 地域医療連携室
 TEL・FAX :0969-62-1547(直通)
 住所:866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19
 電話:0969-62-1122(代) FAX:0969-62-1546
 URL:http://www4.ocn.ne.jp/~kamiama/

発行責任者:地域医療連携室長 福田 誠

上天草総合病院 理念
 信頼される地域医療
 基本方針

1. 私達は、患者様中心の医療を目指します。
2. 私達は、地域に根ざした心あたたかな医療をめざします。
3. 私達は、患者様に安全・安心な医療を提供できるように努力します。
4. 私達は、安心して退院できる病院をめざします。
5. 私達は、常に自己研鑽に努め、医療水準の向上に励みます。
6. 私達は、健全な病院経営をめざします。

第25回上天草総合病院学会

開 催

平成19年2月24日(土)



ことは25回目になります。1題6分で19の演題発表がありました。

病院学会は、各部門のスタッフが一年間の活動をまとめて発表します。発表をきいた参加にとっては、なにに病院が関心をもっているか、よくわかります。患者さん中心、安全が、どの発表にもつながるテーマでした。

内容をまとめた記録集をCDでつくります。後日、おとどけいたします。ご覧ください。そしてご意見、いただけるとさいわいです。

研修委員会 坂本 興美

第25回上天草総合病院学会プログラム

I	開会あいさつ(8:30~8:35) 総合司会 浜崎 浩子		
II	演題発表		
	第1群(8:35~9:35) 座長 放射線科長 大石 芳臣		
	1 緩和ケアマニュアルの見直しで見えてきたもの	5病棟	平井 智美
	2 調理師のレベルアップ ~バージョンIII~	栄養科	吉田 茂
	3 人工呼吸器を使用したALS患者の在宅療養を支援して	訪問看護ステーション	田中 重美
	4 眼科の少ない地域において、三歳児健診・小中学校健診に視能訓練士が果たす役割	ORT	吉岡 久史
	5 IT意識調査の報告	医療情報技師	森 千寿
	6 当院栄養サポートチームの活動とその効果の一部	栄養サポートチーム	脇田 富雄
	第2群(9:35~10:35) 座長 看護師 山中 小百合		
	7 虚血性心疾患患者における頸動脈狭窄に対する検討 ~第2報~	循環器科	堀江 成美
	8 SGA栄養評価とアルブミン値の解離について	検査科	浦山 美ゆき
	9 待ち時間の現状と対策 外来患者様へのアンケート調査結果から	外来	佐藤 亜希
	10 MRSAに対する紅茶の及ぼす影響	5病棟	下田 加奈
	11 平成18年度リハビリテーションの現状報告(平成17年度との比較)	リハビリテーション科	川邊 亮平
	12 糖尿病性腎症における血糖管理の指標	透析室	山内 政一
	コーヒーブレイク(休憩)(15分)		
	第3群(10:50~11:50) 看護学校専任教員 坂口 京子		
	13 治療をおこなった肝のう胞の2例	内科	坂本 興美
	14 ブロックコントロールの実際 ~マイビデオを通して~	歯科口腔外科	北本 春代
	15 拘縮がある患者にローズマリー水を使用した手指の消臭効果	4病棟	山下 恵美里
	16 褥瘡の完治例(仮)	褥瘡対策委員会	福田 誠
	17 救急病床における身体拘束を考える ~身体拘束スコアシート作成を試みて~	2病棟	森島 里奈
	18 誤嚥性肺炎を繰り返す...でも、口から食べたい~摂食嚥下障害にある入所者の経口摂取への働きかけ~	介護老人保健施設きららの里	永田 円
	第4群(11:50~12:10)		
	19 喘息センター40年 ~閉鎖によせて~	喘息センター	松本 高夫
III	講評(12:10~12:15) 病院長 樋口 定信		

喘息センター40年～閉鎖によせて～ 第25回上天草総合病院学会

上天草病院開院以来、約40年に亘り、周りを海に囲まれ国立公園という恵まれた自然環境を生かし心身鍛錬を中心とした上天草喘息センターの施設入院療養は、全国のパイオニア的存在でありましたが、10数年前より薬物療法の進展や治療ガイドラインの普及など、治療法は『入院から外来・鍛錬から薬物』へと大きくシフトし全国で長期入院は激減しました。

そんな中、上天草喘息センターは最後の砦として存続してきましたが、近年は入院数が一桁台となり、本療法の最大の特長でもある『集団療法としての意味や価値が無くなった』ことや、診療報酬改定で運営面も厳しくなり、長期入院については本年度末をもって閉鎖することになりました。

長期入院調査 1969～2007.1

・入院数	男子	664
	女子	369
	計	1033名
・入院時平均年齢	9.9 ± 2.5才	
・平均入院日数	497 ± 279日	
・最長入院日数	2283日(6.25年)	
・最短入院日数	21日(自己退院)	
・死亡	入院中	5名
	院後	18名計23名 2.2%

喘息センターのあゆみ

S39.7	上天草病院開院	70床
S40.8	夏季喘息学級開始	(20名参加)
S44.7	日本初の小児喘息病棟完工	(28床)
S48.1	小児気管支喘息の治療研究施設認定	
S49.7	プール(15m×5m)完成	
S53.4	小児喘息病棟増築完工	(70床)
S54.8	第1回大牟田市あおぞら教室(環境庁委託事業)	
S55.2	屋内プール完成	
S60.3	ソーラシステムによるプール温水化	
S61.1.1	熊本市親子喘息教室開始	以後毎年実施
S63.4	第5回日本小児難治喘息研究会の会場となる	
H2.8	スリムクラブ(肥満教室)開始	
H3.7	病院新築移転(54床)	新温水プール付設
H11.1	療養型病床群(46床)となる	
H19.3	喘息センター閉所(長期入院について)	予定

写真で見る喘息センター40年

小児喘息専門病棟(28床) S44

日本で初めて



熊本市親子喘息教室 S61～



ソーラシステムによる温水プール S60



第5回日本小児難治喘息研究会会場 S63



救急蘇生訓練



救急蘇生についての認識と実践力向上を目的に、全職員を対象に本年2月、救急蘇生の訓練を行いました。勤務を終えた夕方、約1時間半を、毎日20人程度が、人形4体を相手に心肺蘇生法(人工呼吸法や胸骨圧迫の実施と、AED(自動対外式除細動器)の使用法)に取り組みました。

研修を終えて、医療従事者として最低限の知識と技術を持つことの必要性をあらためて感じました。講師を東天草分署の救急救命士にお願いしましたが、快く引き受けていただき、大変楽しく勉強させていただきました。ありがとうございました。

(救急医療委員会 福田 誠)

研修会・勉強会予定表

3月	7日(水)	NSTランチセミナー	12:30～	当院6階講堂
	7日(水)	「微量点滴が必要な薬剤の安全な投与方法についての勉強会」 講師 ディブ/リバンのメーカー担当者	17:30～	当院6階講堂
	7日(水)	「人事評価者の心構えと人事評価の演習」 －人材を人財に育てるシステムづくり－	18:00～	当院2階会議室
3月	8日(木)	学術講演会 「婦人科がんからみえてくる日本人女性のライフスタイルの変化」 講師 熊本大学大学院医学薬学研究部 婦人科学分野 教授 片瀨 秀隆 先生	18:30～	当院6階講堂
3月	9日(金)	糖尿病教室	13:00～	当院6階講堂
	9日(金)	“あし”みる糖尿病勉強会	17:30～	当院6階講堂
3月	13日(火)	小児科勉強会	12:30～	当院6階講堂
3月	14日(水)	NST勉強会	12:30～	当院6階講堂
	14日(水)	「禁煙について」 講師 内科部長 溝部 孝則 先生	18:00～	当院6階講堂
3月	23日(金)	看護師勉強会	12:30～	当院6階講堂